



健診センターニュース

BNP検査で何が分かる？

BNP検査は心臓疾患の診断に役立つ検査です。NT-proBNP（N-末端プロB型ナトリウム利尿ペプチド）とは、心臓の左心室が負担を受けると心筋細胞から分泌されるホルモンの一種で、心臓に過度のストレスがかかっていることを示す指標となります。血液検査で、結果が1時間以内に判明するので緊急時にも役立ちます。NT-proBNPの値が高い場合、心臓に過度の負担がかかっていることを示唆し、心不全などの病状が進行している可能性があり、正常値であれば心臓の機能が比較的良好であることを示しています。

NT-proBNPの検査が特に推奨されるのは、以下のような症状やリスクがある人です。

- 呼吸困難や息切れがある人
これらの症状は心不全のサインであることが多く、検査を行うことで心臓の状態を評価することができます。
- 胸痛を感じている人
胸痛がある場合、心筋梗塞や心臓の問題が疑われます。
- 高齢者
加齢とともに心臓の機能が低下するため、高齢者には定期的な検査が有用です。
- 心臓病や高血圧の既往歴がある人
これらの病歴がある場合、定期的な検査で心不全のリスクを早期に察知しましょう。



NT-proBNP値が異常に高い場合は、心臓が過剰な負担を受けている可能性が高く心不全の疑いがあります。早期に適切な治療を受けることが大切です。ただし、NT-proBNPは心臓だけでなく、腎臓や肺にも関連する疾患で高値を示すことがありますので、必ずしも心不全だけが原因であるとは限りません。異常値が出た場合、医療機関を受診し必要な検査を受けましょう。その結果に応じて、医師は必要な薬物療法や生活習慣の改善（食事、運動、禁煙）などを提案します。NT-proBNPの結果は単独で診断を下すものではなく、症状や他の検査結果と併せて総合的に評価します。健診のオプションとして実施することが可能ですので、この機会に受けてみるのはいかがでしょうか？



万博「国際赤十字・赤新月運動館」のご紹介



4月13日に大阪・関西万博が開幕しました。皆さん、万博には赤十字も出展していることをご存知ですか？当院の職員も運営スタッフとして参加しています。パビリオンの様子を参加した職員から紹介させていただきます。

万博と日本赤十字社の誕生には深い関わりがあります。1867年のパリ万博で赤十字のパビリオンを目にした佐野常民は、その理念に感銘を受け、その後「博愛社」を設立し、日本赤十字社に変更となりました。

赤十字は「人間を救うのは、人間だ。」をスローガンとして掲げており、パビリオン内では紛争に遭われた方や災害地域で活動する赤十字職員のインタビューをドームシアターで見ることができます。また、映像を見て感じた想いをタッチパネルに入力し、大型スクリーンに投影する場所や、赤十字の活動を紹介する展示が設けられています。赤十字パビリオンは基本的に予約が必要ですが、予約に空きがあれば入館頂けます。万博に行かれる予定のある方は、ぜひ赤十字パビリオンにもお立ち寄りください。



健診センターからのお知らせ

—マイナンバーカードについて—

マイナンバーカードを利用して健康保険証の確認ができるようになりました。従来の健康保険証も引き続きご利用いただけます。

—新型コロナウイルス感染症対策について—

5類感染症に移行後も、引き続き感染予防のため、マスク着用、手洗い等にご協力をお願いします。なお、発熱、感冒症状、下痢などの症状がある方は、検査が実施できない場合がございます。また、体調不良により来院できない時は、健診センターまでご連絡ください。

健診のご予約・お問い合わせは
下記までお気軽にお電話ください。

624-0906
舞鶴市宇倉谷427 健診センター
TEL (0773) 75-1920
FAX (0773) 75-7380
月～金 8:30～17:00
(土・日・祝日・年末年始12/29～1/3・創立記念日6/1休)

